

北海道地方の大雪について

3つの大雪パターン

- (1) 発達した低気圧
- (2) 冬型の気圧配置
- (3) 石狩湾小低気圧（雪雲の局地的集中）

(1) 発達した低気圧

2004年1月13日～16日

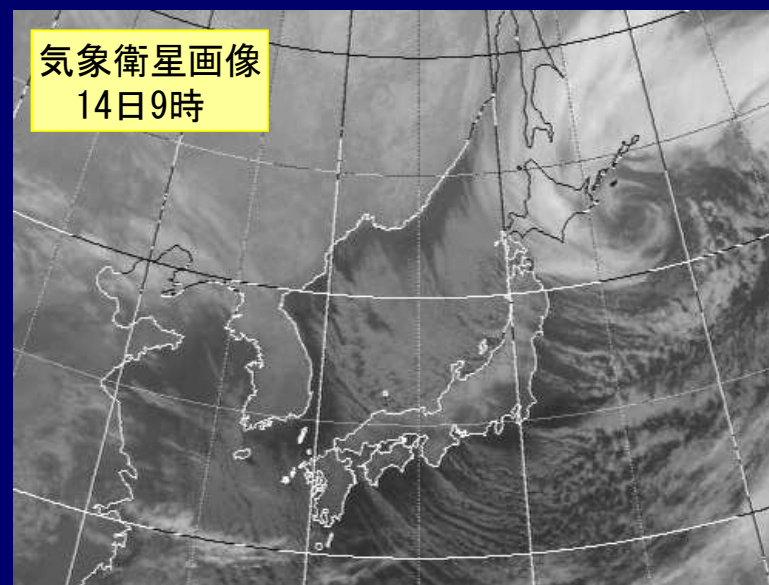
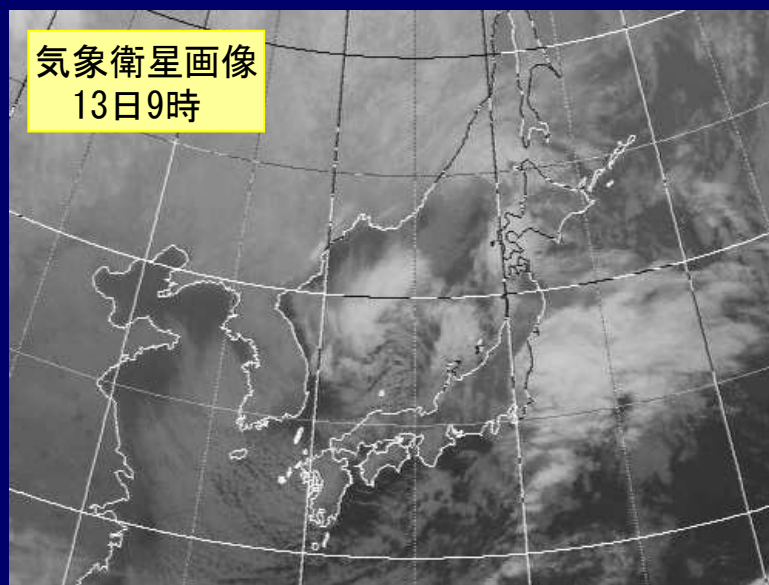
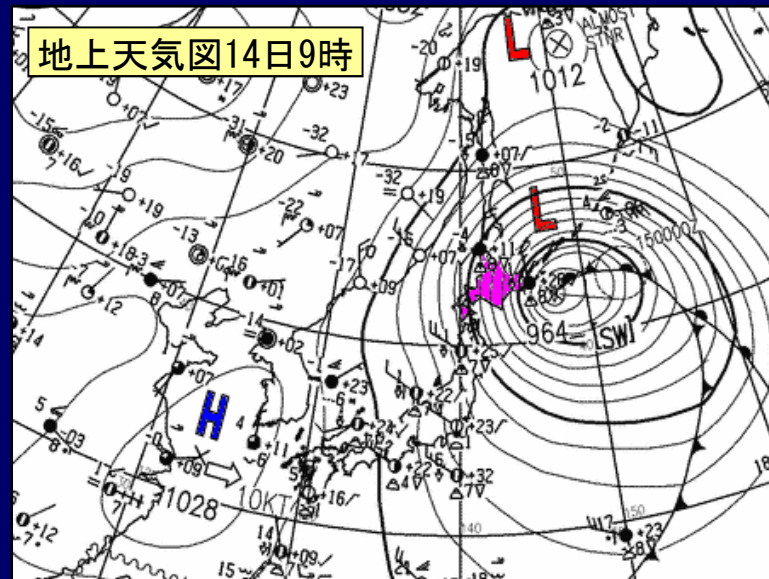
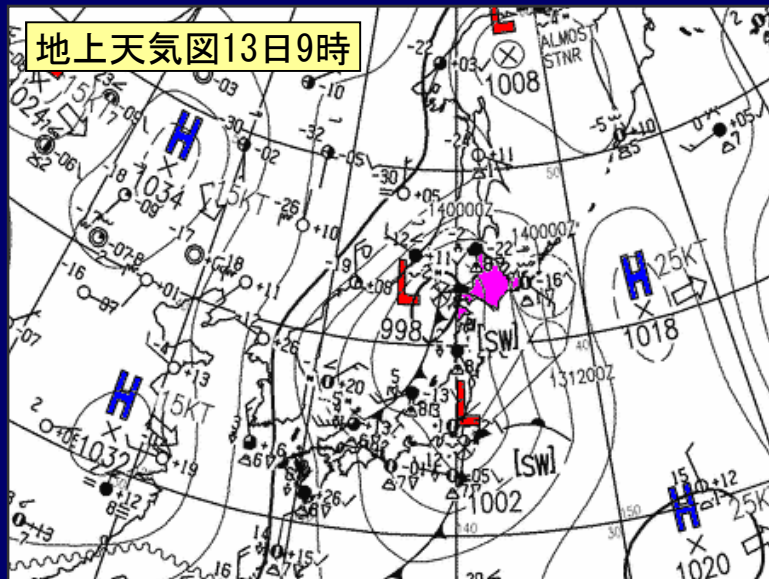
オホーツク海側の大雪



国道238号 湧別町での車両移動援助

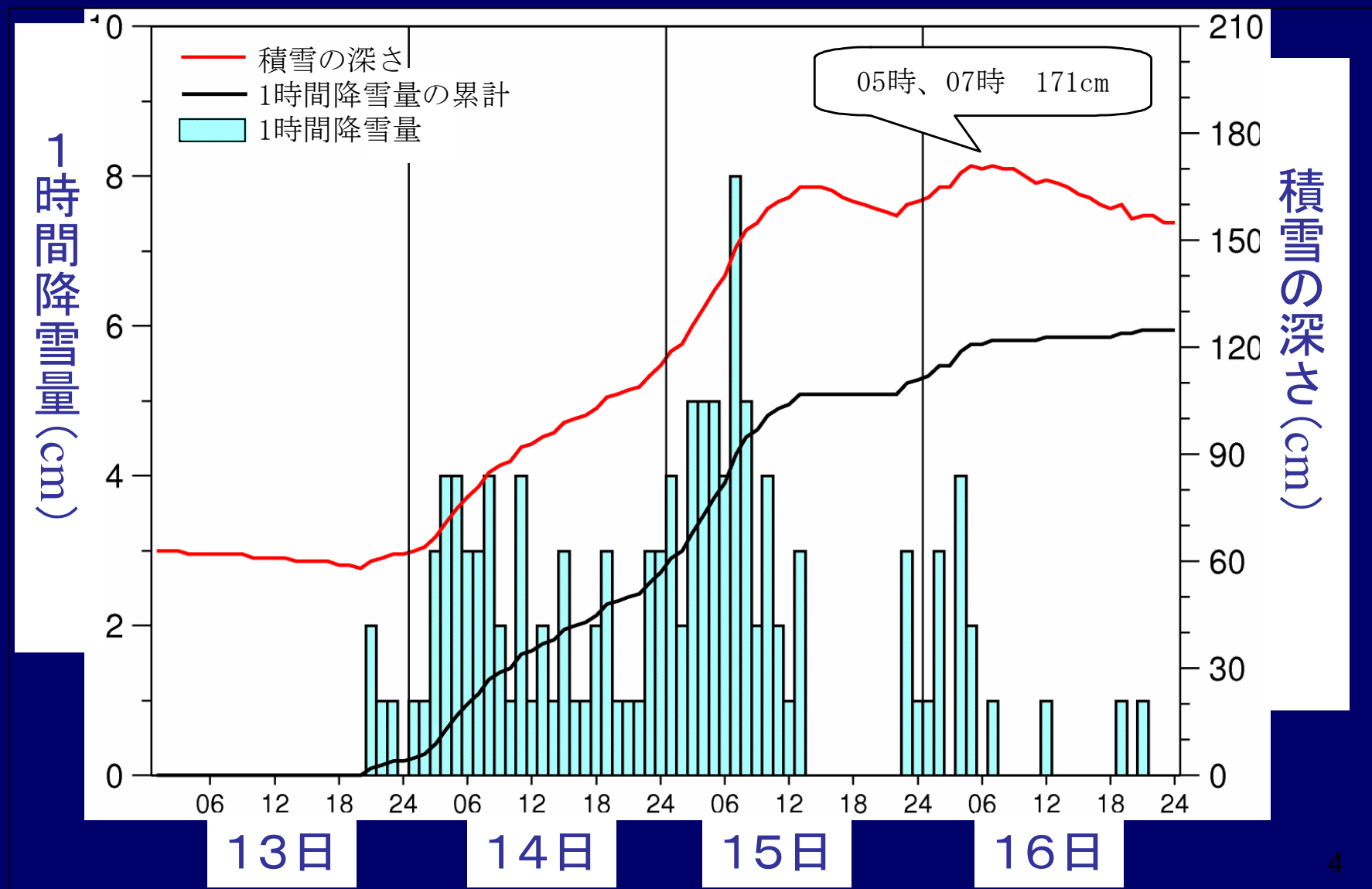
北海道開発局建設部からの提供

地上天気図と衛星画像

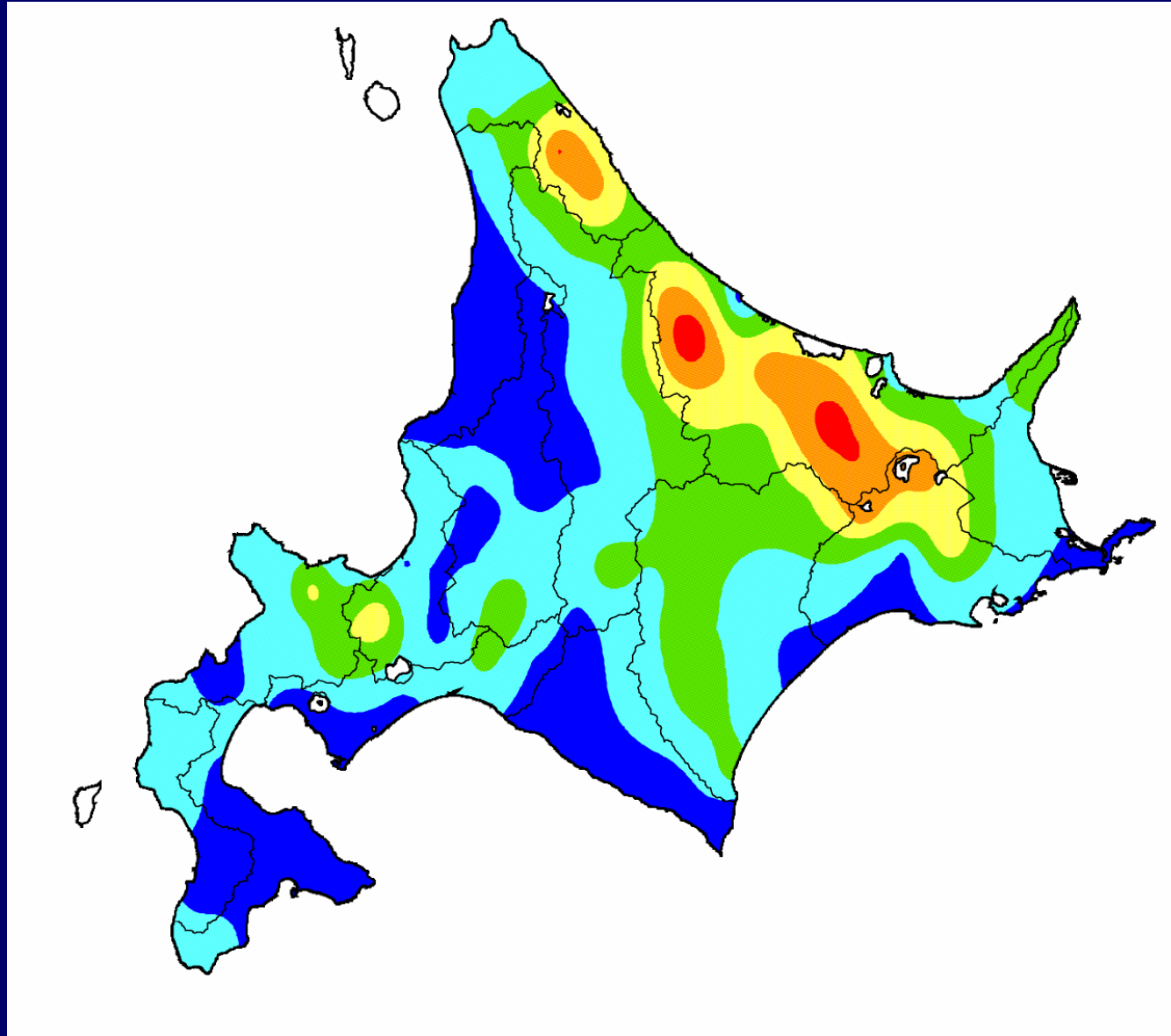


北見の積雪経過(2004年1月13日～16日)

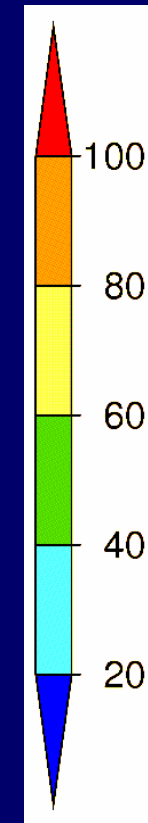
(注)1時間降雪量は、1時間積雪差を用いた



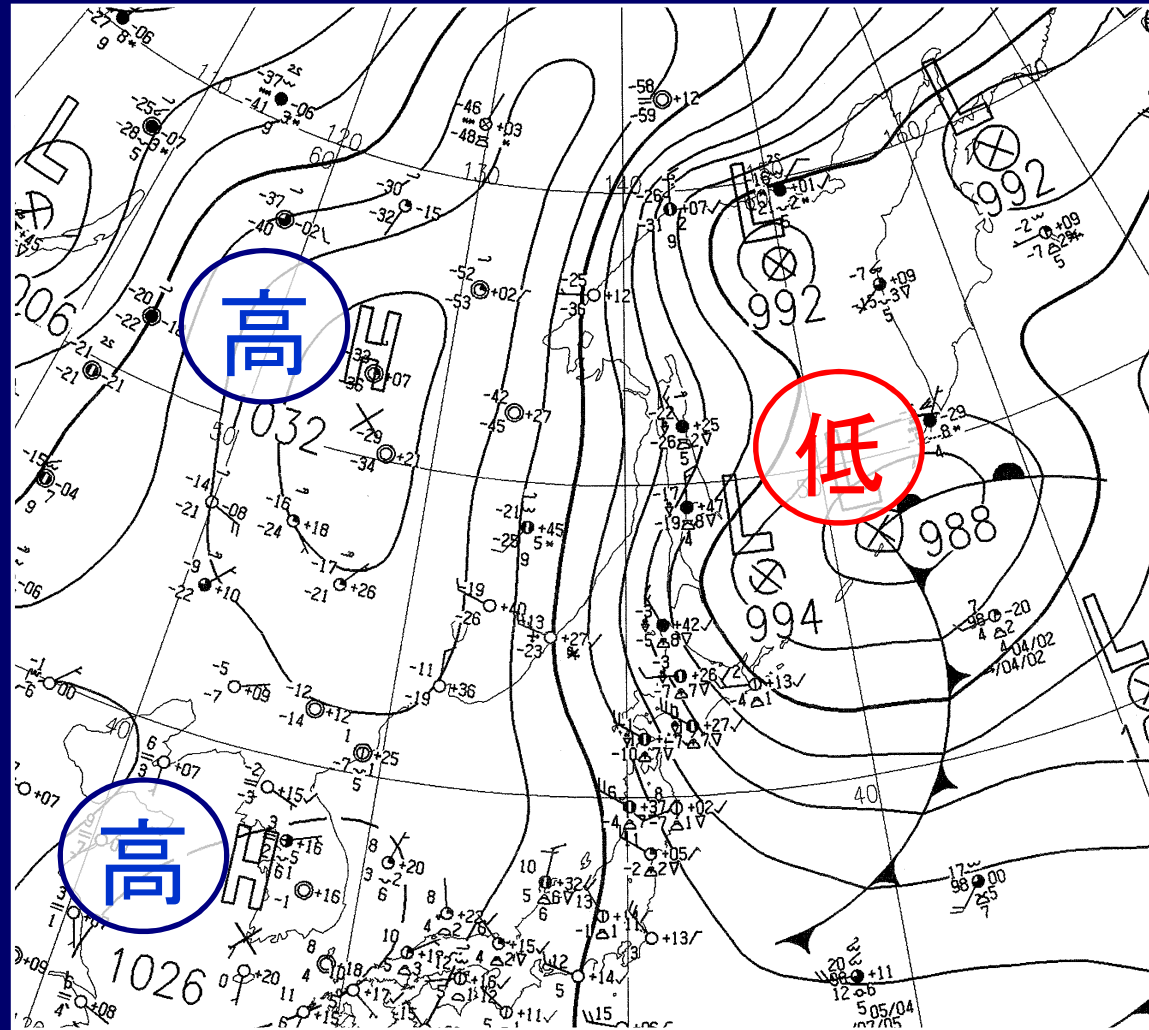
2004年1月13日～16日降雪量



cm



(2) 冬型の気圧配置 (西高東低)



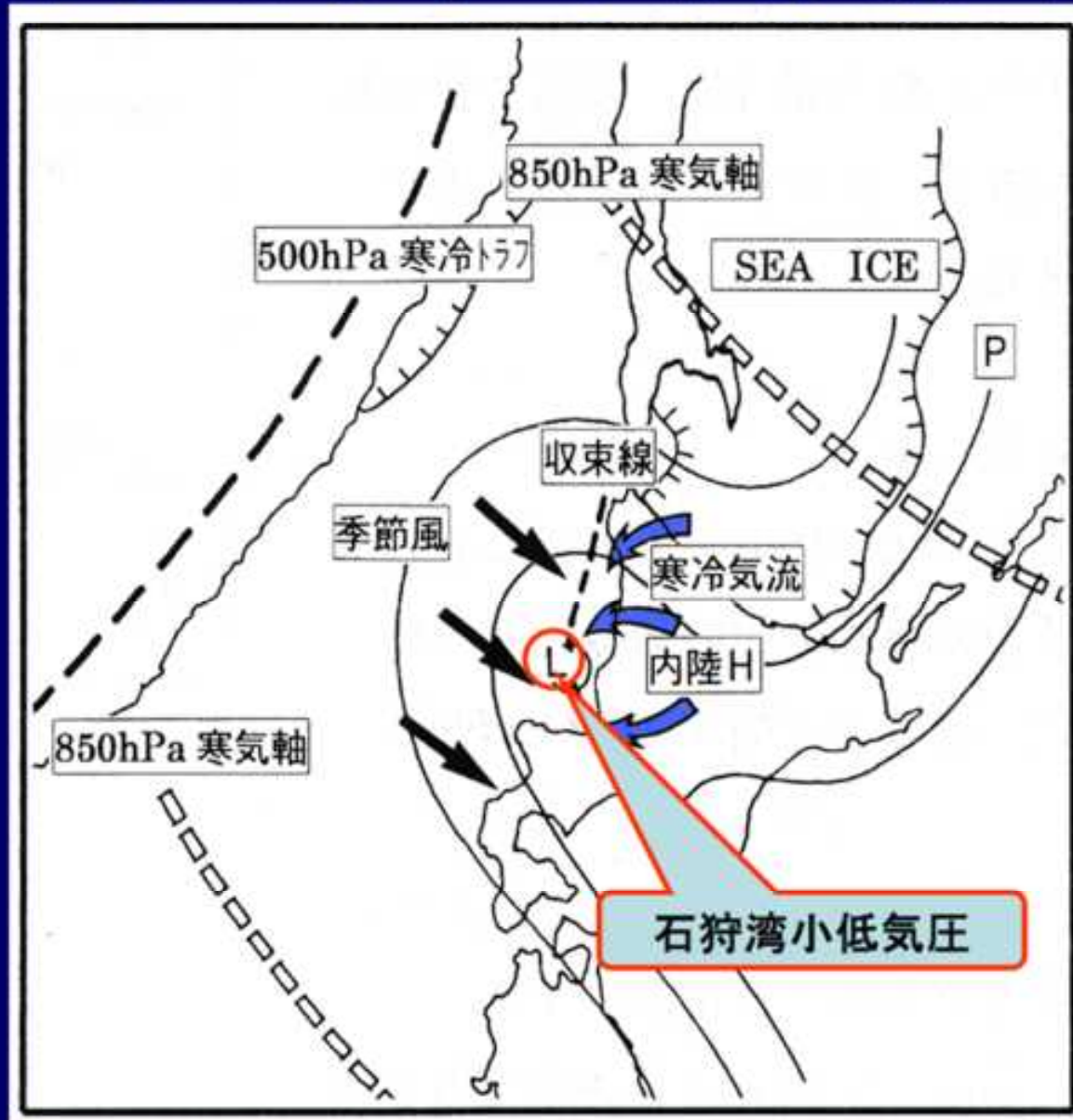
(3) 石狩湾小低気圧

- ・道央圏の交通、航空機への重大な影響。
 - ①道路交通網の遮断。
 - ②JRの運休(都市線、遠距離線とも)。
 - ③航空機(千歳・丘珠)の欠航。

札幌に大雪をもたらす小低気圧

雪雲の局地的集中の概念図

- ①冬型の気圧配置が緩み内陸で高気圧が形成される
- ②上空に強い寒気を伴った気圧の谷が接近
- ③北海道の西海上で大陸からの季節風と北海道内陸部からの風がぶつかり、収束線や小さな低気圧形成される
- ④収束線上又は小低気圧周辺にできた活発な雪雲が陸上に進入したところで大雪となる



石狩湾小低気圧に伴う雪雲

